

お客様各位

平成21年12月
水戸証券株式会社

東証次世代売買システム「arrowhead」開始についてのご案内

平成22年1月4日(月)より東京証券取引所の次世代売買システム「arrowhead」がスタートします。
この次世代売買システムにより現物(株式・CB)の売買が以下のように高速化されます。

✓東証「arrowheadスクエア」のホームページはこちらです。

<http://www.tse.or.jp/rules/stock/arrowhead/index.html>

✓東証「arrowheadスクエア」のパンフレットはこちらです。

<http://www.tse.or.jp/rules/stock/arrowhead/pamphlet.pdf>

1. 注文・約定処理の高速化

① 5ミリ秒の注文応答時間を実現 ※ミリ秒は1,000分の1秒

✓参照データ(東証arrowheadスクエアより)

http://www.tse.or.jp/rules/stock/arrowhead/swf/nariyuki_arrowhead_1000.html

✓従来はこちら(東証arrowheadスクエアより)

http://www.tse.or.jp/rules/stock/arrowhead/swf/nariyuki_genkou_1000.html

2. 株価・気配情報等の情報配信時間が高速化

① 3ミリ秒の情報配信時間を実現

② 複数気配情報を上下5本から8本に拡大します。

✓参照データ(東証arrowheadスクエアより)

http://www.tse.or.jp/rules/stock/arrowhead/swf/yakutei_arrowhead.html


3. 一部ルールの変更

稼働に合わせて、呼値の刻みや制限値幅及び特別気配の更新値幅の一部見直しなども実施されます。

- ① 半日立会を全日立会へ(大発会・大納会)
- ② 呼値の刻みの一部変更
- ③ 制限値幅・特別気配の更新値幅等の一部変更
- ④ 連続約定気配の新設
- ⑤ 同時注文(始値決定前等に発注された注文)の配分方法の変更
- ⑥ 板寄せ・ストップ配分時の合致要件の変更



<ご注意ください>

- 注文・約定処理の高速化、制限値幅・更新値幅の変更、呼値の刻みの変更、連続約定気配の新設等により、注文状況によっては株価が急変動します。特に成行注文を発注される場合には、想定している値段の範囲を超えて約定されてしまう可能性があります。
 - 同時注文の配分順位変更、板寄せ・ストップ配分時の要件変更等により、約定順位や比例配分が想定している状況よりも異なる場合がございます。
-  以下のページにて東証次世代売買システムの注意点を十分にご確認ください。

呼び値の単位

1株の値段		呼値の単位	
(円)超	(円)以下	現行(円)	改定後(円)
	2,000	1	1
2,000	3,000	5	1
3,000	5,000	10	5
5,000	30,000	10	10
30,000	50,000	50	50
50,000	300,000	100	100
300,000	500,000	1,000	500
500,000	3,000,000	1,000	1,000
3,000,000	5,000,000	10,000	5,000
5,000,000	20,000,000	10,000	10,000
20,000,000	30,000,000	50,000	10,000
30,000,000	50,000,000	100,000	50,000
50,000,000		100,000	100,000

制限値幅・更新値幅一覧

基準値段		値幅制限		更新値幅	
(円)以上	(円)未満	現行(円)	改定後(円)	現行(円)	改定後(円)
	100	30	30	5	5
100	200	50	50	5	5
200	500	80	80	5	8
500	700	100	100	10	10
700	1,000	100	150	10	15
1,000	1,500	200	300	20	30
1,500	2,000	300	400	30	40
2,000	3,000	400	500	40	50
3,000	5,000	500	700	50	70
5,000	7,000	1,000	1,000	100	100
7,000	10,000	1,000	1,500	100	150
10,000	15,000	2,000	3,000	200	300
15,000	20,000	2,000	4,000	200	400
20,000	30,000	3,000	5,000	300	500
30,000	50,000	4,000	7,000	400	700
50,000	70,000	5,000	10,000	500	1,000
70,000	100,000	10,000	15,000	1,000	1,500
100,000	150,000	20,000	30,000	2,000	3,000
150,000	200,000	30,000	40,000	3,000	4,000
200,000	300,000	40,000	50,000	4,000	5,000
300,000	500,000	50,000	70,000	5,000	7,000
500,000	700,000	100,000	100,000	10,000	10,000
700,000	1,000,000	100,000	150,000	10,000	15,000
1,000,000	1,500,000	200,000	300,000	20,000	30,000
1,500,000	2,000,000	300,000	400,000	30,000	40,000
2,000,000	3,000,000	400,000	500,000	40,000	50,000
3,000,000	5,000,000	500,000	700,000	50,000	70,000
5,000,000	7,000,000	1,000,000	1,000,000	100,000	100,000
7,000,000	10,000,000	1,000,000	1,500,000	100,000	150,000
10,000,000	15,000,000	2,000,000	3,000,000	200,000	300,000
15,000,000	20,000,000	3,000,000	4,000,000	300,000	400,000
20,000,000	30,000,000	4,000,000	5,000,000	400,000	500,000
30,000,000	50,000,000	5,000,000	7,000,000	500,000	700,000
50,000,000		10,000,000	10,000,000	1,000,000	1,000,000

連続約定気配の新設

例) 現値500円の株に対し、成行で100単位の買い注文の場合

現行		買い数量	改正後		買い数量
売り数量	価格	100	売り数量	価格	66
	成行			成行	
2	530		2	530	カ ←
7	525		7	525	
2	522		2	522	
4	520		4	520	K ←
1	519		1	519	
2	516		2	516	
3	515		3	515	
1	513		1	513	
15	510		15	510	
3	509		3	509	
1	507		1	507	
2	506		2	506	
1	503	# ← 3秒間隔で上値を買付け	1	503	
1	501	#	1	501	
	500	1		500	1

1分間隔で気配更新

更新値幅(1度につけられる値幅、この例では10円幅)以内に売りがあれば、その2倍の520円まで瞬時に約定させる

100単位約定するまで、3秒ごとに上値を503円 1単位、506円 2単位・・・と順次買い付ける。
 なお、500円の株価での更新値幅は10円のため、もし途中で10円の範囲内に売りが無くなった場合には、買付が停止され買い気配が表示される。

500円の株価での更新値幅は10円のため、その2倍の520円まで瞬時に約定される(その間、10円の範囲内に売りが無ければそこで買い気配が表示される)。
 520円までに買い切れなければ、520円をスタートとして1分ごとに買い気配を更新させて残数量を買い付ける。

”注意”

注文入力後に銘柄相違、売買相違、株数相違等に気付いて取消を入力しても520円まで瞬時に約定しに行くため、たとえ誤発注文の一部でも取消が出来た現行制度のようにはいかならない事象が多くなります。

同時呼値の配分ルールの見直し

同時呼値配分(寄り前呼値に対する配分)

現行

証券会社ごとに合計して数量の多い順に配分される

500円 50 40 30 20 3
A社 B社 C社 D社 E社

①

49 39 29 19 2
~~50 40 30 20 3~~
500円 A社 B社 C社 D社 E社

∴ 1単位を5順する

45 35 25 15 0
~~50 40 30 20 3~~
500円 A社 B社 C社 D社 E社

②

1単位5順後、3分の1(小数点切り上げ)を配分

30 23 16 10
~~45 35 25 15 0~~
~~50 40 30 20 3~~
500円 A社 B社 C社 D社 E社

③

3分の1配分後、2分の1(小数点切り上げ)を配分

15 11 8 5
~~30 23 16 10~~
~~45 35 25 15 0~~
~~50 40 30 20 3~~
500円 A社 B社 C社 D社 E社

④

2分の1配分後は数量の多い順に全数量を配分していく

改正後

証券会社ごとに合計して数量の多い順に1単位を配分していく

∴

29 19 9
~~30 20 10 0~~
~~31 21 11 1~~
~~32 22 12 2~~
~~33 23 13 3~~
∴

∴

45 35 25 15
~~46 36 26 16~~
~~47 37 27 17 0~~
~~48 38 28 18 1~~
~~49 39 29 19 2~~
~~50 40 30 20 3~~
500円 A社 B社 C社 D社 E社

板寄せ(寄付き)時の合致条件の見直し

現行

いわゆる「食合い」となり約定しない

売り数量	価格	買い数量
1	成行	1
3	703	
2	702	
	701	1
	700	4

702円売り指値、もしくは701円買い指値のいずれか一方の最低単位が約定できなければ寄付かない



改正後

「成行」だけで成立する

売り数量	価格	買い数量
1	成行	1
3	703	
2	702	
	701	1
	700	4

基準値段もしくは基準値段に近い価格で、成行注文のみ約定する。
約定価格に係わる指値について、最低単位以上の約定を必要とする合致要件を撤廃。

ストップ配分

現行

証券会社ごとに合計して数量の多い順に配分される

ストップ配分が50単位の場合

	500	40	30	20	3
500円	A社	B社	C社	D社	E社

①

	499	39	29	19	2
500円	A社	B社	C社	D社	E社

∴ 1単位を5順する

	495	35	25	15	0	
500円	A社	B社	C社	D社	E社	配分数
						23
						配分残数
						27

② 按分比率を乗じた数配分(端数切捨て)

	472	34	24			
500円	A社	B社	C社	D社	E社	配分数
						25
						配分残数
						2

配分残数 27 A社 $0.0473 \dots \times 495 = 23.447 \dots$ (23単位)
 注文残数 570 B社 $0.0473 \dots \times 35 = 1.657 \dots$ (1単位)
 按分比率 0.047 C社 $0.0473 \dots \times 25 = 1.184 \dots$ (1単位)
 ($27 \div 570 = 0.0473 \dots$) D社 $0.0473 \dots \times 15 = 0.710 \dots$ (0単位)

③ 端数による残数配分

		33		14		
500円	A社	B社	C社	D社	E社	
約定単位	28	7	6	6	3	

配分残数2株は、端数(小数点以下)の大きい順に再配分
 (D社の0.710に1単位、B社の0.657に1単位)

改正後

証券会社ごとに合計して数量の多い順に1単位を配分していく



	488	28	18		
	489	29	19		9
	490	30	20		10
	∴	∴	∴		∴
	∴	∴	∴		∴
	494	34	24		14
	495	35	25		15
	496	36	26		16
	497	37	27		17
	498	38	28		18
	499	39	29		19
	500	40	30		20
500円	A社	B社	C社	D社	E社
約定単位	12	12	12	11	3

<ご注意>

なお、弊社の比例配分ルールは従来と変わりません。

弊社では成行とストップ高安指値を同等とします。

(1) 部店配分

- ①取引所より比例配分株数が割り当てられます。
- ②申し込み部店に最小単位を割り当てます。
- ③最小単位配分一巡後になお、残余株数がある場合には、部店の残数に対して比例配分します。

(2) 店内配分

- ①お客様の注文株数に係わりなく時間優先で最小単位を割り当てます。お客様毎の注文としてまとめられますので、複数回申し込んでも最初の注文のみ割り当てられます。
- ②最小単位の割り一巡後、なお部店の割り株数が生じる場合には、お客様の残数に対して比例配分します。

以上